

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '文化財の保存・活用' and '文化振興事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about traditional folk arts preservation and a list of activities like '加盟団体へ補助金交付'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), and ③意図 (成果指標). Includes data for '補助金の交付額', '加盟団体', and '保存団体の参加人数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (人件費) for 27 and 28 fiscal years.

Table showing '事業費の内訳' (Breakdown of operating costs) for 27 and 28 fiscal years, including '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 fiscal years' implementation content. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	伝統民俗芸能連絡協議会助成事業	事務事業No.	30501000664	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成18年度桜川市内で続けられている民俗芸能を保存、伝承、人材育成、交流を図るために発足。加盟希望する団体も徐々に増え、保存継承意識、市の伝統文化としての誇りをもつようになった。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	補助金があることで後継者育成事業が活発化してきた。加盟団体による交流も行われ、発表会の成果が上がっている。今年度は、団体の概要・紹介パンフレットを作成することができた。「伝統民俗芸能のつどい」のときや各団体の発表会等に配布することができ、普及広報活動に役立てることができた。市内はもとより市外からも公演依頼が増えている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域の文化財の保存継承、活用につながっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	少子高齢化のため、地域の伝統文化、民俗芸能の保存継承が難しくなっているため。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	「伝統民俗芸能のつどい」の開催の他にも市民祭やその他のイベントなどで見ていただく機会を設け、より多くの市民に地域の無形文化財について関心をたかめてもらう。発表の場が増えることで団体の活性化もはかれ、継承活動にも積極的になれる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	地域の民俗芸能の衰退、後継者育成活動が滞る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）→	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないため。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	文化財担当者との連携が可能であり、連絡協議会のため、事務局を協議会役員へ徐々に移行することができる。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市の貴重な地域資源として、後継者育成や文化財の保存につなげるため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	保存会役員や指導者の後継者育成意欲も高くなる。太鼓の稽古に参加を希望する子どもたちや若者層も増えてきた。文化祭ばかりでなく様々なイベントに参加することにより、広く市民に普及広報ができ保存意識を高めることにつながると思われる。	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		
市民祭など、商工観光課や担当課と連絡調整や協議を行い、実施の方向で進めていく。		
	(6) 事務事業優先度評価結果	
	成果優先度評価結果	-
	コスト削減優先度評価結果	-

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>